



クルマを愛す 人を愛す

山形トヨペット

エコアクション21 環境経営レポート

-2023年4月～2024年3月-



作成日：2024年6月30日

目 次

はじめに	2
基本要件	3
環境経営方針	4
●山形トヨペットについて	
事業活動概要	5
環境管理実施体制	6
環境経営システム 役割・責任・権限表	7
●環境活動	
1.環境経営目標 -2023年度の目標と実績・評価-	8
2.環境活動計画	9
3.2023年度評価内容と次年度の取り組み	10
4.環境関連法規等の遵守状況	12
5.環境コミュニケーション記録	14
6.代表者による全体評価と見直し	18
7.中期計画に基づいた2024年度の 環境経営目標と環境経営計画	19

はじめに

世界経済フォーラムが毎年発表する「世界のリスク」は、気候変動リスクなどの環境問題が社会経済に極めて深刻な影響を及ぼすと警告しています。そしてパリ協定に象徴されるように、世界は持続可能な社会の構築を目標に、社会経済システムの大転換を決意し着実に取り組んでいます。

こうした状況の中、環境マネジメントシステム(EMS²)の期待は、紙・ごみ・電気などの環境負荷の削減といった限定的な環境への取り組みを管理する手法から、本業を通じた環境への取り組みにより、事業者自らと社会の持続的な成長を実現する環境経営を推進する手法へと変化しています。

当社は2016年4月にエコアクション21認証を取得し、事業活動に伴う環境負荷の低減に努めるとともに、事業を通じた環境貢献の取り組みに力を入れてきました。当社の事業活動は環境問題と密接に関わっており、グリーンキャンペーンやハイブリッド基金といった環境貢献活動を行っている企業の社員として環境問題解決に積極的に取り組む事が責務であると考えています。エコアクション21の取り組みも7年が経過し、拠点訪問による状況確認を行う中でエコアクションに対する意識の高まりを年々感じております。

2021年度からの取組みとしてEA21環境事務局では、事務局員とマネージャーが他店舗へ赴く「拠点監査クロスチェック」を行っております。これは他店での管理の仕方や、役割分担など店舗間での情報共有に役立ち、社内でのセルフチェックを行いやすい仕組みとなっております。

近年ではSDGs（持続可能な開発目標）という言葉が生まれ、国や政府だけでなく我々のような企業でも「SDGsにどう取り組んでいくのか」考える時期になってきたと言えます。社員一人ひとりが「SDGs」に代表される環境活動に意識を向け、エコアクションについても自分事として捉えて、意識しながら働けるよう継続的な意識向上に努めてまいります。

山形トヨペット株式会社

エコアクション21環境事務局



基本要件

認証・登録範囲

認証・登録番号 : 0011214
認証・登録年月日 : 2016年4月27日
更新・登録年月日 : 2024年4月27日
認証・登録事業者名 : 山形トヨペット株式会社
対象範囲 : 山形トヨペット株式会社全組織および全活動

環境管理責任者

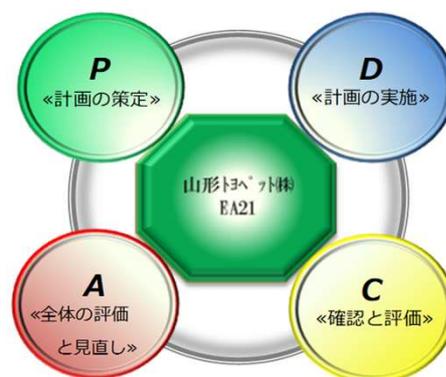
総務部長 飯野 睦巳

環境事務局

担当者 総務部 佐藤 寿彦
総務部 浦山 真奈美

連絡先 023-634-7501

URL <https://yamagata-toyopet.jp/>



山形トヨペット株式会社
EA21 PDCA

環境活動レポートの対象期間と発行日

活動対象期間 : 2023年4月1日～2024年3月31日

発行日 : 2024年6月30日

編集方針

当社のエコアクション21活動報告である本レポートは、当社の活動実績を取引業者・お客様へと広い範囲で報告する情報開示ツールとして活用すると同時に、環境経営の改善・向上に向けて社員一人ひとりが環境活動の重要性を理解し、意識的に活動する事を目的として発行しています。

環境経営方針

<基本理念>

私たちは、「お客様目線を大切にした」活動で、「地域のため社会貢献を継続」し、「社員にもやさしい会社」となる為にも、環境問題への対応を重要課題と位置づけ、自動車販売・自動車整備などのすべての事業活動を通じて、環境負荷の低減と社会貢献活動に継続的に取り組み改善します。

美しい地球を次世代に残すために、法令等を遵守し、廃棄物、リサイクル、省エネ問題を直視して環境経営の継続的改善を行い、持続的発展が可能な循環型社会の実現に貢献します。

<行動指針>

- 1.地球温暖化防止のため、二酸化炭素の削減に取り組みます
- 2.資源の有効利用のため、自ら排出する廃棄物の削減に取り組みます
- 3.水資源の有効利用のため、節水に取り組みます
- 4.グリーン購入を推進します
- 5.環境関連法規等を遵守します
- 6.ハイブリッド基金をもとに地域の環境保全活動を支援していきます
- 7.エコカーの更なる普及に努め、環境にやさしい会社を目指します
- 8.リサイクル部品の使用を推進します
- 9.環境保全に繋がる保険商品やサービスの提供を行います

制定日：2024年3月31日

山形トヨタ株式会社

代表取締役社長

鈴木 政康



クルマを愛す 人を愛す

山形トヨペット について

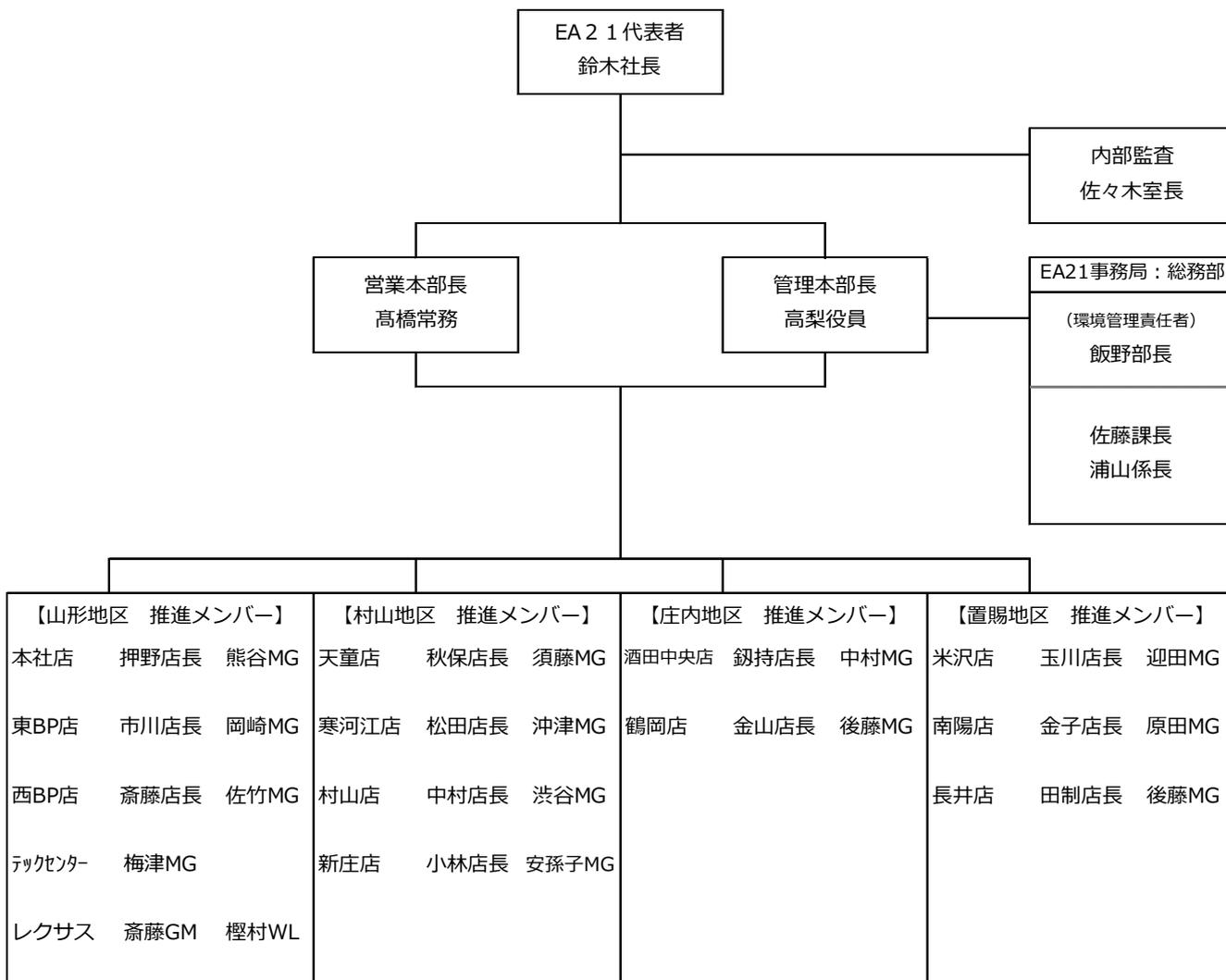
事業活動概要

名称	山形トヨペット株式会社	
本社所在地	山形県山形市飯田西五丁目5番2号	
代表者名	代表取締役社長 鈴木 政康	
設立	昭和31年8月	
資本金	8,000万円	
売上高	180億1,500万円(令和6年3月期)	
従業員数	296名(令和6年3月1日現在)	
事業内容	新車販売、中古車販売・買取、自動車整備・自動車部品用品販売 各種損害保険代理店業務、情報通信機器販売 生命保険の募集に関する業務	
主要販売実績	新車販売	3,033台(除軽)
	中古車販売	1,212台
	車検整備台数	13,298台
店舗	＜トヨタ事業＞ ・本社店 ・東バイパス店 ・西バイパス店 ・天童店 ・寒河江店 ・村山店 ・新庄店 ・酒田中央店 ・鶴岡店 ・米沢店 ・南陽店 ・長井店 ＜レクサス事業＞ ・レクサス山形	
関連会社	仙山テクノクラフト株式会社 天童工場 米沢工場 庄内工場	

山形トヨペット株式会社

作成者：EA21事務局
 作成日：平成30年1月12日
 改訂日：令和6年5月1日

山形トヨペットEA21組織図



環境経営システム 役割・責任・権限表

担 当	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営に関する統括責任。 ・ 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・ 環境管理責任者を任命。 ・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境目標・環境活動計画書を承認。 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・ 環境活動レポートの承認。
内部監査：CSR推進事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期委員会の開催。（監査結果のヒアリング） ・ 改善が必要な事項に対する是正指導及び、改善の確認。 ・ 監査結果及び是正措置等の代表者への報告。 ・ 内部監査計画の策定。 ・ 内部監査を上記計画に沿って実施し、内部監査委員会に報告。 ・ 内部監査の結果に基づき改善項目の進捗状況を確認。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムの構築、実施、管理。 ・ 環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 ・ 環境目標・環境活動計画書を確認。 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告。 ・ 環境活動レポートの確認。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 ・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 ・ 環境目標・環境活動計画書原案の作成。 ・ 環境活動の実績集計。 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成。 ・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・ 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長・店長・環境担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自部門における環境経営システムの実施。 ・ 自部門における環境方針の周知。 ・ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・ 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・ 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 ・ 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練の実施、記録の作成。 ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

環境経営目標 - 2023年度の目標と実績・評価 -

環境経営目標は、2022年度から2024年度までの環境負荷を2021年度を基準として5%削減することを目標に活動していきます。実績と評価は下記の通りとなりました。

■ 環境目標の設定

環境目標項目	基準年数値 (2021年度)	中長期目標（3年）			2023年度数値目標
		2022年度目標 (R3.4~R4.3)	2023年度目標 (R4.4~R5.3)	2024年度目標 (R5.4~R6.3)	取組期間（R3/4~R4/3月）
二酸化炭素排出量	2,385,111 Kg-CO2/年	2021年度(4月~3月)比 2%削減	2021年度(4月~3月)比 4%削減	2021年度(4月~3月)比 5%削減	2,289,707 kg-CO2/年
廃棄物排出量	597,556 Kg/年	2021年度(4月~3月)比 2%削減	2021年度(4月~3月)比 4%削減	2021年度(4月~3月)比 5%削減	573,654 kg/年
水使用量	18,722 m ³ /年	2021年度(4月~3月)比 2%削減	2021年度(4月~3月)比 4%削減	2021年度(4月~3月)比 5%削減	17,973 m ³ /年

■ 具体的な環境数値目標と実績・評価

評価の目安 ○：目標値に対して100%以上 △：99~75% ×：74%以下

環境目標項目	基準年数値 (2021年度の実績)	2023年度の目標値 ()は具体的削減数値	2023年度実績 下段は目標値との差	評価
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	2,385,111 Kg-CO2/年	2,289,707 kg-co2/年 ▲ 95,404 kg-co2	2,021,620 kg-co2/年 ▲ 268,087 kg-co2/年	113.3% ○
購入電力 (Kg-CO2)	1,193,559 Kg-CO2/年 「電力の排出係数：0.523 kg-CO2/kWh」	1,145,817 kg-co2/年 ▲ 47,742 kg-co2	885,160 kg-co2/年 ▲ 260,657 kg-co2/年	129.4% ○
LPG使用量 (Kg-CO2)	20,979 Kg-CO2/年	20,140 kg-co2/年 ▲ 839 kg-co2	37,949 kg-co2/年 + 17,809 kg-co2/年	53.1% ×
ガソリン使用量 (Kg-CO2)	925,081 Kg-CO2/年	888,078 kg-co2/年 ▲ 37,003 kg-co2	911,963 kg-co2/年 + 23,885 kg-co2/年	97.4% △
軽油使用量 (Kg-CO2)	118,058 Kg-CO2/年	113,336 kg-co2/年 ▲ 4,722 kg-co2	104,974 kg-co2/年 ▲ 8,362 kg-co2/年	108.0% ○
灯油使用量 (Kg-CO2)	127,434 Kg-CO2/年	122,337 kg-co2/年 ▲ 5,097 kg-co2	81,574 kg-co2/年 ▲ 40,763 kg-co2/年	150.0% ○
一般廃棄物排出量 (kg)	66,622 Kg/年	63,957 kg/年 ▲ 2,665 kg	56,049 kg/年 ▲ 7,908 kg	114.1% ○
産業廃棄物排出量 (kg)	530,934 Kg/年	509,697 kg/年 ▲ 21,237 kg	463,869 kg/年 ▲ 45,828 kg	109.9% ○
水使用量 (m ³)	18,722 m ³ /年	17,973 m ³ /年 ▲ 749 m ³	17,487 m ³ /年 ▲ 486 m ³	102.8% ○

■ 環境活動目標

環境目標項目	2023年目標値	2023年度実績 (R5/4~R6/3)	評価
グリーン購入の推進	事務用品購入金額の 30%	30.3% 事務用品購入金額：1,681,026円 内グリーン購入金額：509,483円	○
ハイブリッド車の販売比率	35%	51.6% 新車販売台数（除軽）：3,033台 内ハイブリッド台数：1,565台	○
地域環境保全活動	・ハイブリッド基金 ・グリーンキャンペーン ・山形トヨペットの森 ・各店地域貢献活動	≪ハイブリッド基金≫ 県を通じ、NPO法人山形県自動車公益センターに 100万円を寄付 ≪グリーンキャンペーン≫ 杉苗木1440本（少花粉杉） ≪山形トヨペットの森≫ 山形市みはらしの丘地内0.25haを下草刈り （※業者に依頼して実施） ≪各店地域貢献活動≫ アルミ缶収集活動の売却益で車いすを寄贈	○

環境活動計画

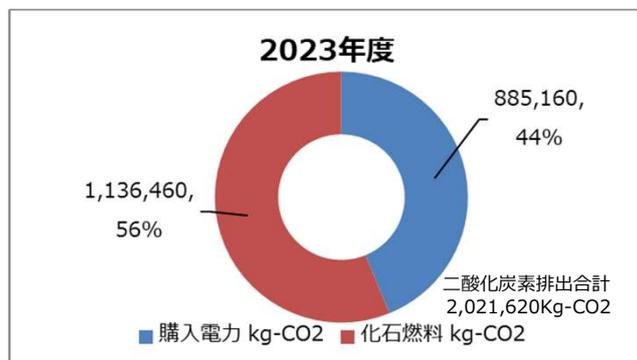
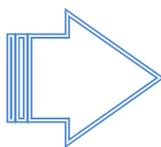
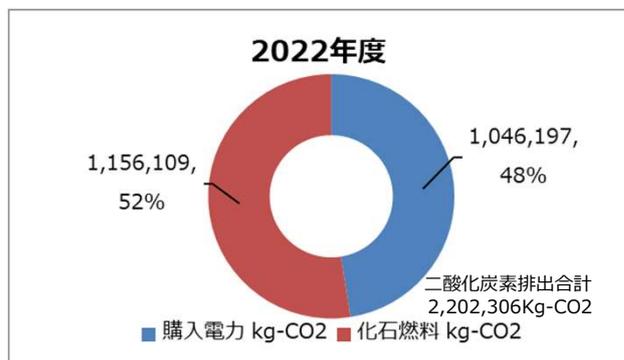
環境目標を達成するため、下記の具体的活動内容を設定し社員一人ひとりが意識的に活動できるよう取り組んできました。拠点毎に『取り組みチェックリスト』を利用した拠点長による自己チェック・EA21環境事務局による『クロスチェック』を実施する事により取り組みに対する現状を再認識し、活動への意識を高めることが最大の目的です。

項目	取組項目	具体的活動内容
二酸化炭素の削減	消費電力の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不用な照明の消灯 ・ 不用な蛍光灯を外す ・ 室温管理(暖房期22℃・冷房期26℃) ・ 定期的にエアコンのフィルターを清掃する ・ クールビズの実施(5月～10月) ・ PCディスプレイを省エネモードに設定する ・ 『ノー残業デー』の実施
	ガソリン・軽油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコドライブの実践 ・ 経済速度の遵守 ・ タイヤの空気圧を定期的に調整する
	その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗車機の温度調整 ・ ジェットヒーターの管理(冬期)
廃棄物排出量の削減と 適正管理	一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分別ルールの確立と周知徹底 ・ コピー用紙削減(両面コピー・裏紙の活用) ・ コピーカウンターの記録と管理 ・ 使用済み封筒の再利用 ・ 社内ポータル活用によるペーパーレス化の推進
	産業廃棄物の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保管場所の管理(表示・4Sの徹底) ・ マニフェスト・契約書類の管理 ・ 委託産廃業者の適正処分に関する現地確認 ・ 油水分離槽の適正管理 ・ 産業廃棄物の分別を徹底しリサイクル率を上げる
販売関連	エコカーの販売	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハイブリッド販売台数および販売比率の向上
総排水量の削減	水道使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手洗い時の節水(ポップの掲示) ・ 洗車時の水の垂れ流し防止 ・ 水道配管からの漏水チェックを定期的に実施する
	地下水の適正利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 融雪用の放水の水量調整
グリーン購入	グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務消耗品のエコ商品購入率の把握 ・ 設備・機械等購入時のルール確立
山形EA21関連	環境保護団体への協力	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハイブリッド基金での寄付活動
	会社周辺の清掃活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺道路の清掃活動、草刈りなどの実施

2023年度評価内容と次年度の取り組み

<p>二酸化炭素排出量 (温室効果ガス排出量)</p>	<p>2023年度の実績は2,021,620Kg-CO2で2022年度実績値2,202,306Kg-CO2より減少しております。主な要因としては購入電力があげられます。前年比84.6%と大幅に減少しており、これはノー残業デーなどの働き方改革による残業時間の減少と連動性が見られます。残業時間の抑制はこれからも引き続き取り組んでまいります。 LPGガスの消費量は基準年の2021年をベースに考えれば大幅に上昇しておりますが昨年よりは減少しております。(2021年に東バイパスの移転等あり) ガソリン使用量は前年比100.2%とほぼ横ばいでした。エコドライブの普及を更に進めたいと思います。</p>
<p>廃棄物排出量 (総排出量・循環資源量)</p>	<p>産廃・一般廃棄物・再生利用(古紙、金属、廃油、廃バッテリー)を合わせた総排出量は519,918Kg(前年比93.5%)となり、こちらも目標値(597,556Kg)より排出量を抑える事ができました。 その内再生利用排出量は307,870Kgでリサイクル率は59.2%(昨年は60.0%)です。廃タイヤのリサイクルを廃止しましたが、それでも前年並みの率になっております。</p>
<p>総排水量 (水使用量)</p>	<p>使用量は17,487m³で前年度実績17,682m³で98.9%とほぼ横ばいです。特に漏水などもありませんでしたので今後も即座に対処していきたいと思っております。</p>
<p>グリーン購入 (文房具等)</p>	<p>2023年度は全購入金額の30.3%(前年30.8%)で、目標値として設定している30%を連続してクリアしております。 今後はもっと比率を上げていくよう計画を立案してまいります。</p>
<p>ハイブリッド車販売 (新車)</p>	<p>年度販売台数において新車(除軽)は3,033台(前年3,009台)でした。その内新車のハイブリッド車販売は1,565台(前年1,287台)でハイブリッド販売比率目標35%に対し53.0%と目標設定を大きくクリアしております。 年々ハイブリッド車の車種構成比率が高まってきており、2024年度目標を50%に引き上げました。 また、プリウス販売県内No.1の記録は15年連続で達成しております。</p>

◎ 温室効果ガス排出量の推移 ◎



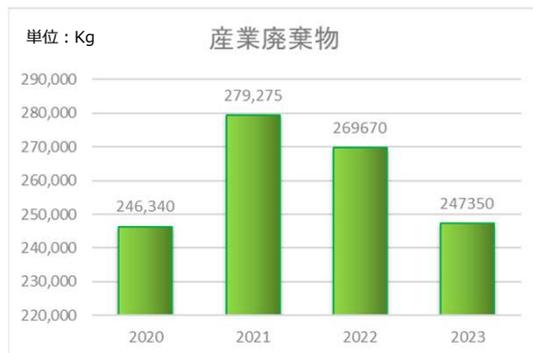
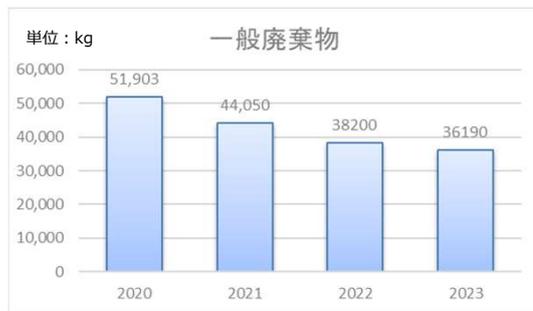
2022年度は前年と比べて全体的にエネルギーの使用量を抑える事が出来ました。(前年比92.3%)
電気代が高騰している事から今まで以上に電気使用量の節約を推進し、経費を少しでも抑える活動が必要だと考えます。

◎産廃物排出量推移(再生利用)

廃棄物排出量の中でも『再生利用』の推移をピックアップしました。
2023年度の実績で再生可能な一般廃棄物は前年に比べて2,010kg少なく、再生利用産業廃棄物の方も前年に比べて22,320kg少なくなりました。排出量総数が減っているのが一概に言えませんが、再生利用率はまだ上げられると思います。
特に「雑品・非鉄」の数量が減っておりますので再度周知を行いたいと思います。

■ 2023年度各項目別排出量

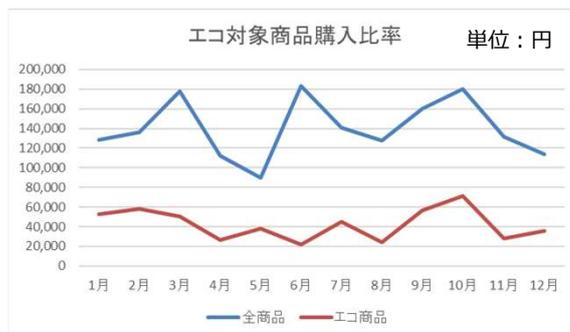
品目	再生利用排出量	品目	再生利用排出量
古紙・段ボール等	36,190kg	鉄	39,280kg
雑品・非鉄	180kg	廃油	192,300kg
廃バッテリー	15,590kg		
一般廃棄物合計	36,190kg	産業廃棄物合計	247,350kg



◎グリーン購入-月別の実績-

グリーン購入（エコ商品）に関して月別に表わしてみると平均では42,456円で推移しております。

「いつも使っているもの」から「エコ対象の事務用品」に意識を変えて取り組んでいきます。

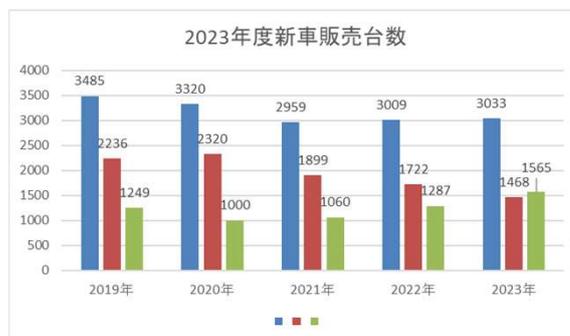


◎新車販売台数の推移-ハイブリッド車販売実績比較-

2023年度のハイブリッド車販売台数は1,565台となり、前年比**278台増**となりました。

メーカーのハイブリッドラインナップが充実した事もありますが、同一車種でガソリン車とハイブリッド車がある場合、ハイブリッド車の購入比率が高くなっており、お客様の購買行動にも環境への意識が高まっている事が分かります。

今後も燃費の良さ・環境に優しい事などをお客様へ引き続き訴求し、更にハイブリッド比率の向上に努めます。



◎ 2023年度 新車月別販売台数およびハイブリッド車比率

車名	台数	車名	台数	車名	台数	車名	台数	車名	台数
アクア	165	クラウンクロス	50	RAV4	36	アルファード	54	プロボックス	71
ヤリス	63	クラウンスポーツ	24	RAV4 HEV	29	アルファードHEV	44	プロボックスHEV	17
ヤリスHEV	80	プリウス	230	RAV4 PHV	5	ヴェルファイア	11	ハイエースW	31
ヤリスクロス	45	プリウスPHEV	27	ハリアー	70	ヴェルファイアHEV	35	ハイエースV	202
ヤリスクロスHEV	187	カローラ	4	ハリアーHEV	170	ノア	43	タウンエース	34
パッソ	36	カローラHEV	22	ハリアーPHEV	12	ノアHEV	79	トヨタエース/ダイナ	108
シエンタ	25	ツーリング	5	ランクル	67	ヴォクシー	26	合計	3,033
シエンタHEV	196	ツーリングHEV	54	ランクル70	7	ヴォクシーHEV	67	(内ガソリン車)	1,468
ライズ	132	カローラクロス	9	ランクルブラド	51	ルーミー	200	(内HV車)	1,565
ライズHEV	10	カローラクロスHEV	65	ハイラックス	21	その他HV	21	HV販売比率	51.6%

環境関連法規等の遵守状況

当社の事業活動に関連する環境関連法規・条例及びその他の規制を受ける事項を下記に示しています。各事項の法遵守状況を整理した結果、環境関連法規に関する違反等はありませんでした。また、関連機関や地域からの指摘・苦情もありませんでした。

法令の名称		定期用される要求事項	評価
全般	環境基本法	事業活動を行うに当たり、環境への負荷の低減、その他の環境の保全に自ら努めるとともに、国または地方公共団体が実施する環境の保全に関する施策への協力	○
大気	フロン排出抑制法	第1種特定製品業務用エアコンの簡易点検の実施 第1種特定製品業務用エアコンの定期点検の実施（7.5Kw以上） カーエアコンの整備に際し適正な回収・運搬・破壊を行う	○
水質	水質汚濁防止法	自動式車両洗浄施設 特定施設の設置届(門型自動洗車機) 貯油施設・油水分離槽 事故時の措置(事故の届出と必要な措置)	○
	下水道法	自動式車両洗浄施設 特定施設の設置届(門型自動洗車機) 貯油施設・油水分離槽 事故時の措置(事故の届出と必要な措置)	○
	浄化槽法	浄化槽の使用開始届・浄化槽管理者等の変更届 浄化槽の保守点検及び清掃の実施 浄化槽の定期検査(法定検査)の実施	○
	山形県生活環境の保全等に関する条例	特定施設の水質検査の実態 pH：5.8～8.6 BOD：25mg/ℓ(日平均 20mg/ℓ) SS：60mg/ℓ(日平均 50mg/ℓ) ノルマルヘキサン抽出物(鉱物油) 5mg/ℓ	○
騒音・振動	騒音規制法	コンプレッサー 特定施設の設置届 ※山形県生活環境保全に関する条例	○
	振動規制法		
廃棄物	廃棄物処理法	廃棄物の適正処理 一般廃棄物の適正処理 産業廃棄物の適正処理 産業廃棄物の保管基準の遵守・処理基準の遵守 (表示：60cm角以上、衛生管理等) 産業廃棄物の委託基準の遵守 (許可業者と委託契約書の締結、保管等) 産業廃棄物委託先の処理状況の確認と必要な措置 産業廃棄物のマニフェスト交付規定の遵守・保管等の規定の遵守 産業廃棄物のマニフェスト交付状況の報告	○
再資源化	自動車リサイクル法	自動車所有者の使用済み自動車の引き渡し義務 使用済み自動車の引取業者の引取義務 使用済み自動車の引取業者の引き渡し義務	○
その他	消防法	指定数量未満の危険物及び指定可燃物の貯蔵・取扱事業者 ・指定数量未満の場合 各市町の火災予防条例が定める技術上の基準を遵守 ・少量危険物の場合 各市町の火災予防条例が定める技術上の基準を遵守し、定められた届出が必要 規定に基づく施行令で規定 屋内消火栓の設置(工場700m ² 以上) 火災報知器の設置(工場500m ² 以上、店舗300m ² 以上)	○
	労働安全衛生法	危害防止基準の確立、責任体制の明確化及び自主的活動の促進の措置 (リスクアセスメント)	○
	トヨタ販売店CSRガイドライン	CSRガイドラインに則り環境に関する問題点の洗い出しを行い、監査マニュアルに沿って監査を行う	○
都道府県等の条例	廃棄物の適正な処理の推進に関する条例(県・市)	廃棄物の適正な処理(適正な産業廃棄物業者との契約)	○
	地方火災予防条例	・該当する危険物を指定数量の5分の1以上、指定数量未満の数量を貯蔵 ・取扱う場所等の届出及び掲示	○

※違反・訴訟等

特になし

環境コミュニケーション-2023年度の取り組み-

環境コミュニケーションとして「ハイブリッド基金」や「ふれあいグリーンキャンペーン」など様々な活動を行ってきました。昨年に引き続き「アルミ缶収集による車イス寄贈」「献血活動」も継続して取り組み『**地域のお役に立つ会社**』を目指し活動していきます。

■ハイブリッド基金

クルマがつながく
優しいキモチ

≡ 16年 ≡



寄付総額
2,000万円

山形県庁にて



ハイブリッド基金は、環境・福祉など、山形のためにお役に立ちたいという思いから、県内自動車業界に先駆け平成19年よりスタートしました。ハイブリッドカーをご成約いただくごとに基金を積み立て、地域の環境・福祉に役立てています。創立60周年を機に「やまがた絆の森（ハイブリッド基金の山形トヨタペットの森）」などの新たな取り組みもスタートし、今後も「クルマがつながく優しいキモチ」をスローガンに地域社会へ貢献し、「ホスピタリティ」の輪を大きく広げていきます。

※当社ホームページより抜粋

■第48回ふれあいグリーンキャンペーン

グリーンキャンペーン

平成29年	山形県 ・ソメイヨシノ 60本 ・緑化活動用ヘルメット 68個
平成30年	山形県 ・ソメイヨシノ 20本 アジサイ 20本 コデマリ 20本 ・緑化活動用ヘルメット 80個
令和元年	山形県 ・ソメイヨシノ 20本 モッコウバラ 20本 サルスベリ 20本 ・緑化活動用ヘルメット 80個
令和4年	山形県（金山町） ・杉苗木 600本 ・緑化活動用ヘルメット 80個
令和5年	山形県 ・杉苗木 1,440本



杉苗木(少花粉スギ) 1,440本
48周年を迎えて

※当社ホームページより抜粋

山形交響楽団

グリーンコンサート



1/10
やまぎん県民ホール



司会の西濱秀樹さん



指揮者の水戸博之さん



2/27
荘銀タクト鶴岡



放送は3/27
お楽しみに!



日々のアルミ缶回収

ありがとうございます！

社会福祉法人幾久栄会 幸楽荘 様
に車いすの寄贈が出来ました！

介護事業所暖家（ダンケ）様

ありがとう
ございました！



代表者による全体評価と見直し

2023年度の取り組み実績を検証し、代表者による全体の評価と見直しを行いました。

1.環境経営システムが有効に機能しているか

E A 2 1 認証を取得後8年が経過しました。2023年度は総務部員が各店舗に出向いての「コンプライアンス確認ミーティング」を行い、そのチェック項目の中にE A ファイルの活用、産廃のマニフェスト伝票、整理清掃の確認などを入れておりますが、全社員への周知はまだまだと感じます。今後もより一層の周知に努め、環境活動への意識啓発に努めて参ります。

2.環境への取り組みは適切に実施されているか

2023年度も各項目において指摘・関連法規に関する違反はありませんでした。油水分離槽のチェック、廃油タンクのメンテナンス（ヒアリング含む）など環境汚染のリスクが高い箇所については事務局によるチェック回数を増やし、油流出事故などを未然に防ぐ取り組みが必要です。また、万が一の際すぐ対応できるよう緊急事態訓練を実施していきます。

3.各項目の見直し

項目		変更の主旨
1)環境経営方針	変更	2024年3月31日付けで改定しました。
2)環境経営目標	変更	ハイブリット車の販売比率目標を50%に引き上げました。
3)環境活動計画	変更	現状に合わせ一部修正しました。
4)環境経営システム	継続	変更の必要なし。 EA21ガイドラインに沿って取り組みを継続します。

4.環境管理責任者・環境事務局への指示

2024年度も事務局で定期的に抛店訪問を行い、現場で働く社員一人ひとりに環境への意識を定着させる必要がある。エコアクションの取り組み目的を周知し、社内の理解を深める活動を実施する。また日々の清掃は元より、4Sを中心とした身の回りの整理整頓が自発的に行えるよう周知徹底させる。同時に抛店間でのクロスチェック、コンプライアンスミーティングを行う事で、抛店毎の格差を縮めるボトムアップの取り組みを並行して行う事を今後も続ける。

中期計画に基づいた 2024年度の環境経営目標と環境経営計画

2021年環境負荷実績を基準として2024年度は5%削減することを目標とします。
グリーン購入、ハイブリッド車の目標は既に達成している為、上方修正しました。

■ 環境経営目標

環境目標項目	基準年数値 (2021年度)	中長期目標（3年）			2024年度数値目標
		2022年度目標 (R4.4~R5.3)	2023年度目標 (R5.4~R6.3)	2024年度目標 (R6.4~R7.3)	取組期間（R6/4~R7/3月）
二酸化炭素排出量	2,385,111 Kg-CO2/年	2021年度(4月~3月)比 2%削減	2021年度(4月~3月)比 4%削減	2021年度(4月~3月)比 5%削減	2,265,855 kg-co2/年
廃棄物排出量	597,556 Kg/年	2021年度(4月~3月)比 2%削減	2021年度(4月~3月)比 4%削減	2021年度(4月~3月)比 5%削減	567,678 kg/年
水使用量	18,722 m ³ /年	2021年度(4月~3月)比 2%削減	2021年度(4月~3月)比 4%削減	2021年度(4月~3月)比 5%削減	17,786 m ³ /年

■ 具体的な環境負荷削減数値目標と重点活動内容

環境目標項目	2021年度（基準年） の排出量の実績	2024年度の目標値 （ ）は具体的削減数値	2024年度 重点活動内容
購入電力 (Kg-CO2)	1,193,559 Kg-CO2/年	1,133,881 kg-co2/年 ▲ 59,678 kg-co2	・店舗照明のLED化の促進 ・夏季・冬季のエアコン温度設定管理 ・毎週木曜日「ノー残業デー」の徹底
LPG使用量 (Kg-CO2)	「電力の排出係数：0.523 kg-CO2/kWh」 20,979 Kg-CO2/年	19,930 kg-co2/年 ▲ 1,049 kg-co2	・GHPの適正な運用(特に東BP)
ガソリン使用量 (Kg-CO2)	925,081 Kg-CO2/年	878,827 kg-co2/年 ▲ 46,254 kg-co2	・エコドライブの実践 ・納車時のガソリン給油量
軽油使用量 (Kg-CO2)	118,058 Kg-CO2/年	112,155 kg-co2/年 ▲ 5,903 kg-co2	・納車時の軽油給油量
灯油使用量 (Kg-CO2)	127,434 Kg-CO2/年	121,062 kg-co2/年 ▲ 6,372 kg-co2	・冬期間使用時の温度管理の徹底
一般廃棄物排出量 (kg)	66,622 Kg/年	63,291 kg/年 ▲ 3,331 kg	・ペーパーレス化の推進 ・資料の作成部数を最低限にする
産業廃棄物排出量 (kg)	530,934 Kg/年	504,387 kg/年 ▲ 26,547 kg	・産廃保管場所の確保と整備 ・油水分離槽の適正管理 ・分別の徹底によるリサイクル率の向上
水使用量 (m ³)	18,722 m ³ /年	17,786 m ³ /年 ▲ 936 m ³	・ポップ掲示による節水の意識付け ・水道メーター検針による使用量の把握

■ 環境活動目標と重点活動内容

環境目標項目	中長期目標（3年）	2024年度目標値	重点活動内容
グリーン購入の推進	事務用品購入金額の 30%	事務用品購入金額の 34%	EA21事務局による グリーン購入対象商品の推奨
HEV、BEV車の販売比率	35%	50%	プリウス県内販売16年連続No.1の獲得
地域環境保全活動	・ハイブリッド基金 ・グリーンキャンペーン ・山形トヨペットの森 ・アルミ缶回収(車いす贈呈) ・各店地域貢献活動	・ハイブリッド基金 ・グリーンキャンペーン ・山形トヨペットの森 ・アルミ缶回収(車いす贈呈) ・各店地域貢献活動	≪ハイブリッド基金≫ 県を通じ、NPO法人山形県自動車公益センター に100万円を寄付 ≪グリーンキャンペーン≫ 県にアカマツ苗木 450本・木と音の屋台 1台 ≪山形トヨペットの森≫ 山形市みはらしの丘地内0.25haを下草刈り (業者に依頼して実施予定) ≪各店地域貢献活動≫ 車いす寄贈

本レポートについての問い合わせ先

山形トヨペット株式会社
エコアクション21 環境事務局
〒990-9588
山形県山形市飯田西五丁目5番2号
TEL：023-634-7501 FAX：023-641-8694
URL <http://yamagata-toyopet.jp/>



クルマを愛す 人を愛す

山形トヨペット